

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-1		
子どもクラブ		開催日時	別紙のとおり				
		参加料設定	別紙のとおり				
内容	様々な体験をとおり、子どもの健全育成を目指す。地域と協力しながら継続的に開催することにより子どもの居場所を確保する。						
事業区分	1主催事業	対象者	幼児・小学生・中学生・高校生など				
	1・2自主事業・補助事業	会場	コズミックセンター・新宿文化センター・地域センターなど				
関係団体	新宿レガス陸上クラブ・区レクリエーション協会・区水泳連盟・区サッカー協会フットサル委員会・区内大学・企業など	部屋名					
		指導員・講師等	関係団体より紹介・派遣など				
周知	方法	備考			定員(延べ)	12,554人	
	財団広報紙 チラシなど	各小中学校・児童館・図書館			応募者数	1423	
申込み	方法	期間			参加者数	1070	
	ホームページ ハガキ FAX	約1カ月間				延べ	8152人
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	13,988,000	5,105,788	9,056,000	6,506,653	2,549,347	71.8%
(2)	人件費(円)	1,220,000	11,308,487	5,015,000	4,695,031	319,969	93.6%
(3)	総事業費(1)+(2)	15,208,000	16,414,275	14,071,000	11,201,684	2,869,316	79.6%
(4)	事業収益:自主(円)	4,729,000	2,783,779	4,866,000	2,991,460	1,874,540	61.5%
(5)	" 補助(円)	2,759,000	406,600	1,915,000	1,174,500	740,500	61.3%
(6)	財源充当額:自主	4,125,000	11,926,755	4,133,000	4,728,325	595,325	114.4%
(7)	" 額:補助	1,220,000	1,297,141	2,813,000	2,554,030	258,970	90.8%
(8)	延べ参加者数	7,637	5,210	10,364	8,152	2,212	78.7%
(9)	単位費用(円) (6)+(7)/(8)	700	2,538	670	893	223	75.0%
【目的】							
1 異年齢間交流と、情操教育により青少年の健全育成に寄与する。							
2 学校の友だち以外の人々との相互交流の機会とする。							
3 継続的な活動の場が不足しているスポーツ・文化活動の一部をクラブ活動を補完する事業として立ち上げ、子どもたちに充実した生活環境を提供する。							
【目標・成果指標】							
1 地域の民間団体・個人との協働による企画の立案、地域人材の有効活用と育成。							
2 継続的な参加を通して、学年を超えた子どもたち同士や地域の活動団体と交流する場を提供。							
3 新たな興味、関心を抱き、継続的な学習につながるようなプログラムの提供。							
4 通年単位の継続的な参加者(クラブ会員)の獲得に努め、クラブ経験者が卒業後もスタッフとして持続して参画できる仕組みづくり。							
【課題】							
1 指導者・地域NPO・区民団体等との連携による事業運営の検討。							
2 広域から多くの参加者を得るための会場の選定。							
3 ニーズに応えるためのアンケートの内容・回数・精査。高い満足度継続のためのプログラム展開。							
4 潜在的対象者への効率的な情報提供と、それによる参加者の増。試合や発表会等の実施。							
5 国等の補助金の活用。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:74.7%(8,152人/10,912人) 前年度比:156.5%(8,152人/5,210人)							
< 内訳・内容 >							
1 ニーズに沿ったプログラムの実施と、継続して参加しやすい会場や対象の設定。							
2 地域人材の活用と、趣旨に見合ったプログラムを提供するための指導者の選定。							
3 指導者の継続的な確保とニーズに沿った指導内容の見直し。							
4 新規連携先・協力団体の開拓。							
5 応募者増のための財団広報紙以外の効果的な周知の検討。							
【今後の課題】							
1 子どものニーズ・事業意図に沿った、指導者・地域NPO・区民団体等との連携による事業運営の検討。							
2 より広くから多くの参加者を得るため、偏りの少ない会場の選定。							
3 子どものニーズに応えるためのアンケートの実施回数、内容の精査。高い満足度を継続するための魅力的なプログラム展開。							
4 潜在的対象者への効率的な情報提供の実現と、それによる参加者の増。試合や発表会等の場の提供。							
5 国等の補助金の積極的活用。							

支出・収益内訳(財源別)

【自主事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議費	0		49,000	49,000	49,000	0	100.0%
旅費交通費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
通信運搬費	232,000			232,000	24,320	207,680	10.5%
消耗品費	2,876,000			2,876,000	1,293,462	1,582,538	45.0%
印刷製本費	32,000			32,000	10,290	21,710	32.2%
使用料及び賃借料	6,000			6,000	2,400	3,600	40.0%
諸謝金	3,578,000			3,578,000	1,809,000	1,769,000	50.6%
委託料	2,270,000		49,000	2,221,000	986,422	1,234,578	44.4%
人件費	3,578,000			3,578,000	3,361,034	216,966	93.9%
事業費合計(円)	12,577,000		0	8,999,000	7,535,928	1,463,072	83.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	4,866,000			4,866,000	2,991,460	1,874,540	61.5%
合計(円)	4,866,000			4,866,000	2,991,460	1,874,540	61.5%

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	5,000			5,000	0	5,000	0.0%
通信運搬費	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
消耗品費	349,000			349,000	118,798	230,202	34.0%
使用料及び賃借料	50,000			50,000	0	50,000	0.0%
諸謝金	1,176,000			1,176,000	769,961	406,039	65.5%
委託料	1,701,000			1,701,000	1,443,000	258,000	84.8%
人件費	1,437,000			1,437,000	1,333,997	103,003	92.8%
事業費合計(円)	4,728,000			4,728,000	3,665,756	1,062,244	77.5%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	1,915,000			1,915,000	1,174,500	740,500	61.3%
合計(円)	1,915,000			1,915,000	1,174,500	740,500	61.3%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
65.8%	59.3%	4.8

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1.平成21年度全校アンケートに基づく種目の設定 2.地域人材の活用と新たな協力団体の開拓による質の高いプログラムの実施 3.他団体と交流試合の実施。他の事業との連携による作品展示・演技発表の実施
---------------	---	--

平成22年度 子どもクラブ実績

	種目	日程	会場	対象	回数	定員	定員延	応募者	参加者	出席者 (延)
レガスクラブ	総合 詳細は別紙のとおり	5/9～3/6(日)・(祝) 月2回程度	コズミックセンター ほか	小学1～3年生	20	50	1,000	49	48	470
	英語	6/3～12/16(木)	戸塚第三小	小学2・3年生	23	20	460	20	18	248
	英語	6/1～1/23(火)	コズミックセンター	小学4～6年生	23	20	460	22	19	357
	図工	6/8～3/8(火)	CCAA (四谷ひろば内)	小学1～6年生	30	30	900	28	23	562
	料理	6/9～10/27 11/10～3/16隔週(水)	四谷地域センター	小学3～6年生	16	24	384	20	18	248
	バスケットボールA	6/15～3/8(火)	コズミックセンター	小学2～4年生	24	30	720	26	24	313
	バスケットボールB		コズミックセンター	小学5・6年生	24	30	720	28	25	418
	チャリーディング	6/10～12/9(木)	コズミックセンター	小学2～6年生	20	30	600	27	26	600
	水泳	6/18～3/18(金)	コズミックセンター	小学3～6年生	25	30	750	64	17	716
	フットサルA	6/4～10/8 11/5～3/18(金)	コズミックセンター	小学1年生	27	20	540	11	11	241
	フットサルB		コズミックセンター	小学2・3年生	27	20	540	21	21	370
	フットサルC		コズミックセンター	小学4～6年生	27	20	540	23	22	418
	泳力検定会	7/13(火)	コズミックセンター	小学1～6年生	1	20	20	4	4	4
		7/15(木)	コズミックセンター		1	20	20	8	8	8
8/24(火)		コズミックセンター	1		20	20	12	12	12	
子ども未来講座	ホバークラフトをつくろう	7/24(土)・ 25(日)	工学院大学 新宿キャンパス	小学1～6年生 低学年は保護者同伴	2	30	60	70	30	60
	宇宙の学校	9/11(土)・10/23(土) 11/27(土)・12/18(土)	コズミックセンター	小学1～4年生 保護者同伴	4	30	120	64	30	97
					4	30	120	48	30	96
	コピー機になってみよう	10/3(日)	コズミックセンター	小学1～6年生	1	30	30	30	30	30
					1	30	30	35	35	35
	体感しよう! -162 の不思議な世界	12/1(水)	コズミックセンター	小学1～6年生	1	30	30	74	36	36
	科学であそぼ	1/9(日)・23(日)・2/6(日)	コズミックセンター	小学1～6年生	3	30	90	65	28	76
レガスサイエンスフェスタ	3/5(日)	コズミックセンター	5歳～15歳 幼児は保護者同伴	1	300	300	330	263	263	
キッズ伝統芸能	10/10～3/27	新宿文化センター	小学生～高校生	15	24	360	27	24	160	
				24	360	27	24	163		
自主事業計						972	9,234	1,186	856	6,061
のびのびクラブ	土曜スキップ	5/15～3/19(土)	コズミックセンター	小学1～6年生	30	50	1,500	48	41	604
	水曜チャレンジ なわとびチャレンジ	6/2～7/21(水)	コズミックセンター	小学1～6年生	8	30	240	53	53	300
	水曜チャレンジ かけっこにチャレンジ	8/25～10/13(水)	コズミックセンター	小学1～6年生	8	30	240	41	31	266
	水曜チャレンジ マラソンにチャレンジ	11/17～1/26(水)	コズミックセンター	小学1～6年生	8	30	240	62	59	386
新宿ミュージカル講座	6/17～10/17	新宿文化センター	小学4年生以上 から高校生まで	22	50	1,100	33	30	535	
補助事業計						190	3,320	237	214	2,091
合計						1,162	12,554	1,423	1,070	8,152

平成22年度 レガスクラブ(総合)実績

回	日程	プログラム	会場	協力団体	参加者数
1	5/9(日)	オリエンテーション 運動会に向けて、かけっこが早くなるう	コズミックセンター 小体育室	新宿レガス陸上クラブ	35
2	5/16(日)	運動会に向けて、かけっこが早くなるう	コズミックセンター 大体育室 半面		38
3	5/23(日)	運動会に向けて、かけっこが早くなるう	コズミックセンター 小体育室		34
4	6/20(日)	落合散策～記念館・佐伯アトリエ～	佐伯祐三 アトリエ記念館		29
5	6/27(日)	レクリエーション	コズミックセンター 小体育室	新宿区レクリエーショ ン協会	28
6	7/4(日)	レクリエーション	コズミックセンター 大体育室 半面		27
7	7/30(金)	お札と切手の博物館体験プログラム	お札と切手の 博物館	お札と切手の 博物館	19
8	8/5(木)	大きな作品をつくろう	制作: C C A A 展示: コズミックセ ンター	CCAAアートプラザ	16
9	8/6(金)	大きな作品をつくろう			17
10	8/7(土)	大きな作品をつくろう			19
11	9/12(日)	江戸時代にタイムスリップ!	歴史博物館		22
12	10/11 (月・祝)	スポレクに参加しよう!	コズミックセンター	新宿区レクリエーショ ン協会	20
13	10/17(日)	四谷文化ネット ～いろんなおもちゃで遊ぼう～	おもちゃ美術館	おもちゃ美術館	20
14	11/21(日)	読み聞かせ	歴史博物館		12
15	12/5(日)	料理たいけん	北新宿生涯学習 館	高齢社会ネットワー クグループにじ	29
16	1/16(日)	新宿シィル-マラソン-区民健康マラソ ン2kmの部に参加しよう!(練習)	コズミックセンター 小体育室	新宿レガス陸上クラブ	30
17	1/30(日)	新宿シィル-マラソン-区民健康マラソ ン2kmの部に参加しよう!	国立競技場		25
18	2/13(日)	昔のおもちゃ遊び	歴史博物館		14
19	2/27(日)	レクリエーション	コズミックセンター 小体育室	新宿区レクリエーショ ン協会	16
20	3/6(日)	レクリエーションと閉講式			20
参加者延べ人数					470

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-2		
放課後子どもひろば		開催日時	土日祝日を除く 放課後開始(長期休業中は午前10時)から 各校ひろば終了時間まで				
		参加料設定	年度200円(保険料)				
内容	放課後および学校休業日に、区立小学校施設を利用し、管理責任者・支援者の安全管理のもと、子どもが安心して遊び、学べる場を提供する。						
事業区分	3その他	対象者	区内在住・在学の小学生(登録者)				
	3受託事業	会場	子どもひろば実施校 21校				
関係団体		部屋名	子どもひろば実施校(活動室・校庭等)				
		指導員・講師等	各校ひろば責任者及び支援者による管理運営				
周知	方法	備考			定員(延べ)	人 団体	
	広報紙、ホームページ ポスター・チラシ				応募者	人 団体	
申込み	方法	期間			参加者数	人 団体	
	その他	概ね22年3月1日～平成23年3月31日			延べ	153,456人	
歳出科目	会計	大科目			4号事業費支出		
	公益目的事業会計						
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	239,570,000	21,578,142	33,206,000	25,552,115	7,653,885	77.0%
(2)	人件費(円)	-	132,973,069	260,473,000	188,894,742	71,578,258	72.5%
(3)	総事業費 (1)+(2)	239,570,000	154,551,211	293,679,000	214,446,857	79,232,143	73.0%
(4)	事業収益(円)	732,000	673,800	905,000	915,600	10,600	101.2%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	238,838,000	153,877,411	292,774,000	213,531,257	79,242,743	72.9%
(6)	延べ参加者数	-	133,462	-	153,456	-	-
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	-	1,153	-	1,391	-	-
【目的】地域と協働して、放課後および学校休業日に、小学校内において安全で充実した子どもの遊びや学びの場を提供することで、地域の子どもの健やかな成長を支援する。							
【目標】1 地域スポーツ・文化事業協議会や学校施設活動団体を始めとする地域人材の継続的な事業参画。2 近隣中学生、高校生、大学生等の継続的なボランティア参加。3 学校・地域が一体となった安全安心で多彩なプログラムを実施する事業運営							
【課題】1 地域住民が継続的に参加できるボランティアシステムの確立。2 近隣中学生、高校生、大学生等の継続的なボランティア参加。3 総合型地域文化スポーツクラブを始めとする学校を拠点とした事業との連携							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 自校登録率 達成率:88%(67.5%/77%) 前年度比:91%(67.5%/73.9%) 内訳・内容 1 今年度から早稲田小・余丁町小・落合第三小・落合第五小・淀橋第四小の5校を新規受託している。 2 登録者数は学校毎に増減があり、登録率は若干の減。登録者数は3月末現在6,160人となっている。 3 事業を受託してから3年間の経験を活かし、新規校について、スムーズな開始とより安定した運営を行うことができた。 4 各校ひろば独自の企画、地域団体やボランティアの活用によるプログラムなどを実施している。 5 将棋をはじめとした各種運営ボランティアを獲得できた。 6 各校ごとの連絡会を実施。既存校については、ひろばと子どもとの距離が近いことや、学校との連絡を密にした決め細やかな運営に対し一定の評価を得た。							
【今後の課題】 1 ひろば事業の地域における認知度をさらに高めることで、協力者および団体をより多く確保していく。 2 生涯学習団体や学生、地域等と連携した安定的なスタッフ人材の確保。 3 より地域や学校色を活かした事業展開を行うため、各校において、総合型地域スポーツ・文化クラブ育成事業との連携を図る。 4 親の就労形態に関わらない子どもの居場所づくりのために、“学童クラブ”と“放課後子どもひろば”の一体運営を目指し、委託事業者募集に積極的に応募していく							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	1,921,000			1,921,000	1,820,000	101,000	94.7%
通信運搬費	3,470,000			3,470,000	2,270,112	1,199,888	65.4%
消耗品費	6,941,000			6,941,000	6,013,553	927,447	86.6%
修繕費	3,087,000		171,000	2,916,000	214,535	2,701,465	7.4%
印刷製本費	321,000			321,000	320,250	750	99.8%
保険料	905,000			905,000	773,580	131,420	85.5%
諸謝金	3,180,000			3,180,000	380,000	2,800,000	11.9%
租税公課費	13,151,000			13,151,000	12,895,612	255,388	98.1%
委託費	230,000		171,000	401,000	400,200	800	99.8%
人件費	260,473,000			260,473,000	188,894,742	71,578,258	72.5%
法人税等繰入金	0			0	464,273	464,273	-
事業費合計(円)	293,679,000		0	293,679,000	214,446,857	79,232,143	73.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
受託事業収益	905,000			905,000	915,600	10,600	101.2%
区受託料収益	292,774,000			292,774,000	292,774,000	0	100.0%
合計(円)	293,679,000			293,679,000	293,689,600	10,600	100.0%

事業総合評価

アンケート評価基準

参加率	回収率	アンケート

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	<p>1.地域団体・PTA・地域ボランティア・近隣児童館などの協力により、魅力あるプログラム(将棋・工作・卓球・バドミントン・ヨガ・ユニカール・一輪車など)を企画・運営することができた。</p> <p>2.4年間の実績により、保護者や学校から安全な居場所として評価をうけた</p> <p>3.障がい者対応・不審者対応・応急救護など、責任者や支援者の研修を充実させ、職員の資質を向上させることができた</p> <p>4.登録率の低下が見られる。</p>
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3	
子ども青少年体験プログラム		開催日時	各事業による			
		参加料設定	各事業による			
内容	小中学生及び高校生に対して、区内及び友好都市等の歴史、音楽、美術、自然といった幅広い体験学習の場を提供することで、学校教育では経験できない感動を与え、学習意欲や新宿への郷土愛を向上させる。					
事業区分	補助・受託		対象者	区内の小・中・高生(各事業による)		
			会場	各事業による		
関係団体			部屋名			
			指導員・講師等			
周知	方法	備考		定員(延べ)	人	
	広報、チラシほか				団体	
申込み	方法	期間		応募者数	人	
	各事業による	各事業による		参加者数	人	
歳出科目	会計	大科目		中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出		4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異
(1)	事業費(円)			36,898,000	27,297,306	9,600,694
(2)	人件費(円)			8,164,000	7,744,293	419,707
(3)	総事業費(1)+(2)	0	0	45,062,000	35,041,599	10,020,401
(4)	事業収益:受託(円)			21,400,000	17,569,410	3,830,590
(5)	" : 補助(円)			76,000	37,200	38,800
(6)	財源充当額:受託			14,138,000	9,157,608	4,980,392
(7)	" 額: 補助			1,284,000	533,088	750,912
(8)	延べ参加者数			8,102	8,207	105
(9)	単位費用(円) (6) + (7)/(8)	#DIV/0!	#DIV/0!	1,903	1,181	723
<p>【目的】小中学生及び高校生を対象に区内及び友好都市の持つ資源と地域ボランティアを財団がコーディネートすることで区民参画型の体験事業を確立する。参加者に各地域での体験を通じた感動を与えるとともに、地域住民との交流を図ることで、成長期の感性を引き伸ばす。</p> <p>【目標・成果指標】(1)実施会場の選択肢が行える事業の実施 (2)ボランティア及び地域住民の運営によるオリジナルプログラムの実施 (3)リーダーボランティアの事業参画</p> <p>【課題】(1)運営協力ボランティアの養成 (2)新規実施場所の調査</p> <p>【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 97.9%(8,207人/8,382人) 前年度比: %(/) < 内訳・内容 > (1)夏季施設 2,334人 (2)対話式鑑賞法 1,991人 (3)ドレミクラブ 851人 (4)小中学校との連携事業 2,005人 (5)こども文化体験プログラム 175人 (6)夏休み子ども講座 675人 (7)中学生・高校生体験事業 194人</p> <p>【今後の課題】 (1)広報の工夫・強化による事業の一層の周知及び参加者・参加団体の増。 (2)事業の内容、実施方法等の見直しによる魅力ある事業、プログラムの開発。 (3)ボランティア及び地域住民が恒常的に事業に参画できるような体制整備。</p>						

支出・収益内訳(財源別)

【受託事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	828,000			828,000	195,380	632,620	23.6%
通信運搬費	227,000			227,000	52,076	174,924	22.9%
消耗品費	2,307,000			2,307,000	1,806,202	500,798	78.3%
使用料及び賃借	25,385,000		25,000	25,360,000	20,304,940	5,055,060	80.1%
燃料費	58,000			58,000	16,938	41,062	29.2%
諸謝金	648,000			648,000	435,000	213,000	67.1%
支払負担金	100,000			100,000	60,000	40,000	60.0%
委託料	5,843,000		1,000	5,842,000	3,830,667	2,011,333	65.6%
保険料	0		25,000	25,000	25,000	0	100.0%
雑費	0		1,000	1,000	815	185	81.5%
租税公課	142,000			142,000	0	142,000	0.0%
人件費	5,469,000			5,469,000	5,249,173	219,827	96.0%
事業費合計(円)	41,007,000		0	41,007,000	31,976,191	9,030,809	78.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	21,400,000			21,400,000	17,569,410	3,830,590	82.1%
区受託料収入	19,607,000			19,607,000	18,475,642	1,131,358	94.2%
合計(円)	41,007,000			41,007,000	36,045,052	4,961,948	87.9%

【補助事業】

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	15,000			15,000	2,500	12,500	16.7%
通信運搬費	14,000			14,000	720	13,280	5.1%
消耗品費	355,000			355,000	151,330	203,670	42.6%
使用料及び賃借	52,000			52,000	27,640	24,360	53.2%
諸謝金	124,000		9,000	115,000	72,000	43,000	62.6%
委託料	800,000			800,000	308,330	491,670	38.5%
保険料	0		9,000	9,000	7,768	1,232	86.3%
人件費	2,695,000			2,695,000	2,495,120	199,880	92.6%
事業費合計(円)	4,055,000		0	4,055,000	3,065,408	989,592	75.6%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	76,000			76,000	37,200	38,800	48.9%
合計(円)	76,000			76,000	37,200	38,800	48.9%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	(1)7つの事業を合わせると、多くの多彩なプログラムを区民に提供することができた。 (2)参加者が目標値に達していない事業があり、一層の広報周知が必要である。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(1)		
子ども青少年体験プログラム (1)夏季施設		開催日時	7月21日～8月23日 各学校2泊3日				
		参加料設定	各学校により設定 おおよそ1名15,000円前後				
内容	区立小学校5・6年生を対象に、千代田湖(長野県伊那市高遠町)、女神湖(長野県北佐久郡立科町)において、各学校単位で2泊3日の野外活動体験の場を提供する。						
事業区分	3その他	対象者	区立小学校5・6年生				
	3受託事業	会場	千代田湖 長野県伊那市ほか				
関係団体	新宿区立小学校校長会、長野県伊那市、伊那市振興公社、御堂垣外東山、ほか	部屋名	女神湖 長野県北佐久郡立科町ほか				
		指導員・講師等	伊那広域シルバー人材センター、伊那谷森と人を結ぶ協議会、女神湖高原学園指導員ほか				
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
	その他		各学校	団体	人		
申込み	方法	期間	応募者数	人			
	その他		各学校で設定	参加者数	2,334人		
歳出科目	会計	大科目	延べ	団体			
	公益目的会計			事業費	4号事業費	2,334人	
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	30,825,000	24,901,302	30,142,000	23,388,119	6,753,881	77.6%
(2)	人件費(円)	1,319,000	3,285,031	2,263,000	2,115,448	147,552	93.5%
(3)	総事業費 (1)+(2)	32,144,000	28,186,333	32,405,000	25,503,567	6,901,433	78.7%
(4)	事業収益(円)	21,609,000	18,440,840	21,400,000	17,569,410	3,830,590	82.1%
(5)	財源充当額 (3)-(4)	10,535,000	9,745,493	11,005,000	7,934,157	3,070,843	72.1%
(6)	延べ参加者数	2,558	2,180	2,312	2,334	22	101.0%
(7)	単位費用(円) (5)/(6)	4,118	4,470	4,760	3,399	1,361	71.4%
【目的】							
1 夏休み期間中を活用して、区立小学校5・6年生を対象に、児童の情操教育や生きる力の向上に寄与するプログラムを展開する。							
2 現地の自然資源や人的資源を活かしたプログラムを提案し、自然に親しみ自然を愛する心を養う。							
3 地元住民との信頼関係を構築し、長期的な市民同士の交流へと繋げる一助とする。							
【目標・成果指標】							
1 千代田湖 地元人材や組織との連携・信頼関係をより深め、また自然環境を最大限に活かし、現地ならではのプログラム提供を行なう。							
2 女神湖 登山等の新たなプログラムの開拓。連携可能な地元組織の開拓、さらには事業目的達成のための体験プログラム等の提案を行う。							
【課題】							
1 地元組織および住民参画によるプログラムの実施。							
2 引率教員向け野外活動技術修得プログラムの充実。							
3 過密状態にある女神湖の緩和に繋がる、新たなキャンプ場等開拓・提案。							
4 学校・引率教員の負担軽減。児童の経済的負担軽減。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:101% (2,334人/2,312人) 前年度比:107.1%(2,334人/2,180人)							
参加率87.2%(2,334人/2,677人)							
< 内訳・内容 >							
1 千代田湖							
(1)実地踏査時、諏訪赤十字病院の協力の下、止血法等の応急救護実習とマムシ・蜂への対処講習実施。(2)実地踏査時、担当職員によるロープワーク実習、ナイトウォークシミュレーションを実施。(3)近隣施設の入浴施設を確保したことにより、衛生面が向上。(4)周辺林地を活用し、地元NPO指導による林業体験等提案・実施。(5)伊那市の協力の下、美和湖見学・カヌー体験・そば打ち体験を実施。							
2 女神湖							
(1)実地踏査時、モデルハイキング実施。(2)新規ハイキングコースを開拓提案。(3)収穫体験・太巻き作り等を提案・実施。							
【今後の課題】							
1 千代田湖							
(1)周辺林地を活用し、林業体験等の充実及び安全面の向上。(2)雨天時のプログラム提案。(3)老朽化備品の更新。(4)入浴施設の確保等、衛生面の向上。							
2 女神湖							
(1)女神湖高原学園内の野内外活動プログラムの開発。(2)立科町との連携強化による体験学習プログラムの充実。							
3 全体共通							
(1)教員向けの、野外活動に関する知識技術習得機会の検討。またはそれに代わる人材の確保。(2)女神湖実施校の過密化緩和のための代替地の提案。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	613,000			613,000	181,000	432,000	29.5%
通信運搬費	40,000			40,000	12,036	27,964	30.1%
消耗品費	500,000			500,000	355,173	144,827	71.0%
燃料費	58,000			58,000	16,938	41,062	29.2%
使用料及び賃借	22,744,000			22,744,000	18,907,390	3,836,610	83.1%
諸謝金	616,000			616,000	435,000	181,000	70.6%
租税公課	142,000			142,000		142,000	0.0%
支払負担金	100,000			100,000	60,000	40,000	60.0%
委託料	5,329,000		1,000	5,328,000	3,419,767	1,908,233	64.2%
雑費			1,000	1,000	815	185	81.5%
人件費	2,263,000			2,263,000	2,115,448	147,552	93.5%
事業費合計(円)	32,405,000		0	32,405,000	25,503,567	6,901,433	78.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	21,400,000			21,400,000	17,569,410	3,830,590	82.1%
区受託料収入	11,005,000			11,005,000	9,976,867	1,028,133	90.7%
合計(円)	32,405,000		0	32,405,000	27,546,277	4,858,723	85.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	<p>千代田湖キャンプ: 1.実地踏査時に応急手当講習及びロープワーク講習を実施し、好評を得る。2.林業体験も隣接林地を利用することで実施率が増加した。3.伊那市の協力により、美和湖ダム見学やカヌー体験を実施。4.近隣施設の入浴施設を利用させていただくことで、懸案事項だった、衛生面も向上した。</p> <p>女神湖高原学園: 1.実地踏査時に立科町役場の協力を得て、御泉水自然園のウォーキングを実施。2.とうもろこし等の収穫体験を提案し、数校で実施。</p>
---------------	---	--

【千代田湖について】

場所：千代田湖キャンプ場（長野県伊那市高遠町大字藤沢4976）

	学校名	実施日	参加児童数	5/1時在籍児童に対する参加率
1	花園小学校	7月21日 ~ 23	45名	88.20%
2	四谷第六小学校	7月23日 ~ 25	46名	90.20%
3	戸塚第三小学校	7月25日 ~ 27	54名	84.40%
4	鶴巻小学校	7月27日 ~ 29	40名	88.90%
5	天神小学校	7月29日 ~ 31	32名	88.90%
6	西新宿小学校	7月31日 ~ 8月2日	49名	77.80%
7	愛日小学校	8月2日 ~ 8月4日	75名	87.20%
千代田湖計			341名	平均 87.5%

【女神湖について】

場所：女神湖高原学園（長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野字赤沼平994）

	学校名	実施日	参加児童数	5/1時在籍児童に対する参加率
1	柏木小学校		104名	89.70%
2	落合第二小学校	7月21日 ~ 23	65名	92.90%
3	戸山小学校		89名	63.10%
4	富久小学校	7月23日 ~ 25	33名	91.70%
5	落合第三小学校		103名	84.40%
6	落合第六小学校	7月25日 ~ 27	58名	100.00%
7	淀橋第四小学校		105名	96.30%
8	戸塚第二小学校	7月27日 ~ 29	64名	97.00%
9	市谷小学校	7月29日 ~ 31	182名	93.80%
10	早稲田小学校	7月31日 ~ 8月2日	177名	89.40%
11	戸塚第一小学校	8月2日 ~ 4	111名	77.60%
12	余丁町小学校		139名	97.90%
13	落合第五小学校	8月4日 ~ 6	49名	100.00%
14	牛込仲之小学校		87名	84.50%
15	大久保小学校	8月6日 ~ 8	62名	79.50%
16	落合第四小学校		99名	85.30%
17	津久戸小学校	8月8日 ~ 10	63名	95.50%
18	落合第一小学校	8月17日 ~ 19	103名	75.20%
19	西戸山小学校		136名	89.50%
20	江戸川小学校	8月19日 ~ 21	26名	83.90%
21	東戸山小学校		79名	83.20%
22	四谷小学校	8月21日 ~ 23	59名	92.20%
女神湖計			1,993名	平均 88.3%

*四谷小学校6年生は姉妹校（山形県天童市立千布小学校）と交流のため、5年生のみ参加。

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(2)		
子ども青少年体験プログラム (2)美術 対話式鑑賞法		開催日時	4月19日～平成23年3月7日				
		参加料設定	無料				
内容	公立小中学校の小学4年生及び中学1年生に対して、区内及び近郊の美術館を活用し、通常営業では出来ない対話式鑑賞法を取り入れ美術館の持つ資源を直接触れることで、子どもに作品の感動を呼び起こし、今後の美術学習の意欲を促進するプログラムを提供する。						
事業区分	3その他	対象者	区立小学校4年生、区立中学校1年生				
	3受託事業	会場	各区立小中学校内教室				
関係団体	財団法人損保ジャパン美術財団 損保ジャパン東郷青児美術館	部屋名	損保ジャパン東郷青児美術館				
		指導員・講師等					
周知	方法 その他	各学校	備考	定員(延べ)	人 団体		
	申込み			応募者数	人 団体		
申込み	方法 その他	期間	各学校で設定	参加者数	1991人 団体		
				延べ	1991人		
歳出科目	会計 公益目的会計	大科目 事業費		中科目 4号事業費			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	-	-	4,796,000	2,926,840	1,869,160	61.0%
(2)	人件費(円)	-	-	2,667,000	2,421,729	245,271	90.8%
(3)	総事業費(1)+(2)	-	-	7,463,000	5,348,569	2,114,431	71.7%
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	-	-	7,463,000	5,348,569	2,114,431	-
(6)	延べ参加者数	-	-	2,300	1,991	309	86.6%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	-	3,245	2,686	558	-
【目的】							
1 区内公立小中学校を対象に、財団が民間美術館(区内及び近郊)、学校、ガイドボランティアをコーディネートすることで、区民参画型の美術鑑賞法を確立する。							
2 子どもたちに美術作品に親しむ機会や地域住民との交流の経験を提供することで、成長期のこどもの感性を引き養う。							
【目標・成果指標】							
1 鑑賞場所の選択肢が行える事業の実施。							
2 ガイドボランティア及び保護者の参画による教室の実施。							
3 リーダーガイドボランティアの養成。							
【課題】							
1 運営協力保護者確保及びガイドボランティアの養成。							
2 新規実施場所の調査。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 86.6% (1,991人/2,300人) 前年度比: %(人/ 人)							
< 内訳・内容 >							
1 区立小学校全29校、区立中学校7校で実施。その内、区立小学校21校、区立中学校6校で事前授業を実施した。							
2 学校から会場までの往復移動をバスとし小中全校に配車した。							
3 1・2学期間は美術館の職員との引き継ぎ期間として打合せ・事前授業に同行し、3学期間は財団職員のみで行った。							
4 事前打合せをスムーズに行うため、マニュアル・打合せ用フォーマットを作成した。							
【今後の課題】							
1 小学校の事前授業について何通りか授業方法を考案し、各校に提案できるようにする。							
2 中学校の事前授業について担当教諭と綿密に話し合い、鑑賞会につながるような授業方法を検討する。							
3 美術館との役割分担を明確にし、密に連絡を取り合いながら事業を進める。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費支出	197,000			197,000	14,380	182,620	7.3%
通信運搬費支出	179,000			179,000	40,040	138,960	22.4%
消耗品費支出	1,747,000			1,747,000	1,449,870	297,130	83.0%
使用料及び賃借支出	2,641,000		25,000	2,616,000	1,397,550	1,218,450	53.4%
保険料支出	0		25,000	25,000	25,000	0	100.0%
諸謝金	32,000			32,000	0	32,000	0.0%
人件費	2,667,000			2,667,000	2,421,729	245,271	90.8%
事業費合計(円)	7,463,000		0	7,463,000	5,348,569	2,114,431	71.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
区受託料収入	7,463,000			7,463,000	6,340,425	1,122,575	85.0%
合計(円)	7,463,000		0	7,463,000	6,340,425	1,122,575	85.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	(1)対話をしながら絵画を鑑賞する機会は貴重であり、自分が感じたことをそのまま口にできるため充実した言語活動の場となっている。 (2)異なった見方・感じ方の意見交換ができ児童・生徒の相互理解につながっている。 (3)各学校の担当教諭からも「貴重な機会になっている」との声をいただいている。
---------------	---	--

対話式美術鑑賞 実績表

学校名	実施日時	人数
江戸川小	4月26日9:00～10:30	21
淀橋第四小	4月26日10:30～12:00	38
4月計		59

四谷小	5月31日9:00～10:30	69
戸塚第一小	5月31日10:30～12:00	62
5月計		131

戸塚第二小	6月7日9:00～10:30	41
富久小	6月7日10:30～12:00	48
落合第一小	6月14日10:00～11:30	81
戸山中	6月14日14:00～15:30	105
戸塚第三小	6月21日9:00～10:30	46
落合第二小	6月21日10:30～12:00	59
戸山小	6月28日10:00～11:30	67
牛込第三中	6月28日14:00～15:30	70
6月計		517
1学期計		707

余丁町小	9月13日10:00～11:30	68
新宿中	9月13日14:00～15:30	66
落合第六小	9月27日10:00～11:30	27
西新宿中	9月27日14:00～15:30	30
9月計		191

天神小	10月4日9:00～10:30	18
花園小	10月4日10:30～12:00	19
牛込仲之小	10月18日9:00～10:30	30
落合第三小	10月25日10:00～11:30	107
10月計		174

大久保小	11月1日10:00～11:30	34
牛込第二中	11月1日14:00～15:30	46
東戸山小	11月29日10:00～11:30	43
11月計		123

西戸山小	12月6日9:00～10:30	72
早稲田小	12月6日10:30～12:00	81
落合第五小	12月13日10:30～12:00	20
落合第四小	12月20日9:00～10:30	58
鶴巻小	12月20日10:30～12:00	54
12月計		285
2学期計		773

学校名	実施日時	人数
津久戸小	1月17日9:00～10:30	30
西新宿小	1月17日10:30～12:00	35
愛日小	1月24日9:00～10:30	42
柏木小	1月24日10:30～12:00	46
市谷小	1月31日10:00～11:30	111
牛込第一中	1月31日14:00～15:30	103
1月計		367

四谷第六小	2月7日9:00～10:30	26
2月計		26

落合第二中	3月7日14:00～15:30	118
3月計		118
3学期計		511

合計 **1,991**

* は小学校の事前授業実施校
は中学校の事前授業実施校

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(3)	
子ども青少年体験事業 (3)音楽 ドレミ倶楽部		開催日時	4月～平成23年3月 申込みにより随時			
		参加料設定	無し			
内容	財団が推薦するアーティストを区立学校当からの要請により派遣し、身近で生の演奏を体験できる場を提供する。 時期:学校の要請により随時派遣 区立小中学校等を対象 45分間程度の演奏					
事業区分	1主催事業	対象者	区立小学校の児童・生徒、職員、保護者等			
	2補助事業	会場	区立小学校体育館等			
関係団体	金管バンド Brass Form	部屋名				
		指導員・講師等				
周知	方法	備考		定員(延べ)	人	
	チラシ	校長会で配布			団体	
申込み	方法	期間		応募者数	人	
		随時		参加者数	4校	
歳出科目	会計	大科目		中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出		4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値		
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異
(1)	事業費(円)	-	-	891,000	311,230	579,770
(2)	人件費(円)	-	-	527,000	494,762	32,238
(3)	総事業費(1)+(2)	-	-	1,418,000	805,992	612,008
(4)	事業収益(円)	-	-	0	0	0
(5)	財源充当額(3)-(4)	-	-	1,418,000	805,992	612,008
(6)	延べ参加者数	-	-	400	851	451
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	-	3,545	947	2,598
【目的】						
芸術のアウトリーチ活動として、区内小中学校等へプロの音楽家を派遣し、芸術を身近に体験できる機会を提供す						
【目標・成果指標】						
1 子どもたちも一緒に歌ったり、演奏するなど、楽しく共演する企画を盛り込み小規模演奏会の利点を生かした運営を目指す。						
2 将来的には2年程度をかけ全校で開催することを目指す。						
【課題】						
教育委員会や各学校に働きかけ、将来的に毎年10校程度で開催できるよう、運営体制を整える						
【今年度の結果】						
< 成果指標に対する実績 > 達成率:213%(851/400) 前年度比:240%(851人/355人)						
< 内訳・内容 >						
1 6月11日 東戸山小学校 体育館 317名参加						
2 9月17日 鶴巻小学校 体育館 173名参加						
3 9月29日 淀橋第四小学校 体育館 300名参加						
4 1月18日 新宿養護学校 体育館 61名参加						
(1) 学校からの要望により、4校とも金管バンドによる演奏。金管の部活動がある学校も多く身近な楽器のようである。						
(2) 音楽教諭との打ち合わせにもとづき、アニメソングなど子どもたちの興味の引きやすい選曲を行った						
(3) 単に合奏を聞かせるのみでなく、楽器の仕組みを説明しながらの、ソロ演奏を行ったり、子どもたちの合唱とのコラボレーションを行ったり、子どもたちがより積極的に参加できるよう、内容の工夫を行った。						
【今後の課題】						
1 小中学生に身近な楽器であることから金管バンドの要望が強いが、毎年同じような内容であると繰り返し要望いただく学校には飽きられる可能性がある。打楽器や邦楽器など多様な楽器を提案していく必要がある。						
2 20年度2校、21年度0校(新型インフルエンザの影響で実施なし)、22年度4校と実施校数は決して多くない。学校長会だけでなく、教員の音楽部会などでも積極的にPRしていく必要がある。						
3 現在のところ、求めに応じて無料で実施しているが、希望校数が増加していったときの対応を考慮する必要がある。不況の影響で企業等からの協賛を得ることは難しくなっているため、抽選による学校数の精査や、受益者負担を求めるなどが考えられる。						

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	15,000			15,000	2,500	12,500	16.7%
通信運搬費	10,000			10,000	400	9,600	4.0%
消耗品費	46,000			46,000		46,000	0.0%
使用料及び賃借料	20,000			20,000		20,000	0.0%
委託費	800,000			800,000	308,330	491,670	38.5%
人件費	527,000			527,000	494,762	32,238	93.9%
事業費合計(円)	1,418,000			1,418,000	805,992	612,008	56.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 成果指標の参加者数400名を大幅に上回る851名の参加 2 予算では10校実施のところ4校での実施 3 子どもの興味をひく内容に努め、4校中2校の全児童から感謝状(感想文)を送られる。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(4)		
子ども青少年体験プログラム (4)歴史 小・中学校との連携		開催日時	通年				
		参加料設定					
内容	区内、区外の小・中学校における児童・生徒の歴史学習の理解を深めるため、博物館及び所蔵資料を活用し学校の教育活動を支援する。						
事業区分	1主催事業	対象者	区立小中学校等				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館・区立小中学校等				
関係団体		部屋名					
		指導員・講師等					
周知	方法	備考	定員(延べ)	人			
		年度初めに区立小中学校に文書で通知		団体			
申込み	方法	期間	応募者数	人			
			参加者数	団体			
歳出科目	会計	大科目	延べ	人			
	公益目的事業会計	事業費支出		38団体 2,005人			
			中科目		4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	193,000	151,560	150,000	85,638	64,362	57.1%
(2)	人件費(円)	-	-	383,000	341,001	41,999	89.0%
(3)	総事業費(1)+(2)	193,000	151,560	533,000	426,639	106,361	80.0%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	193,000	151,560	533,000	426,639	106,361	80.0%
(6)	延べ参加者数	2,100	1,938	2,500	2,005	495	80.2%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	92	78	213	213	0	99.8%
【目的】							
1 区内在学・在住の児童・生徒が、新宿区の歴史や文化に対する興味と親しみを深め郷土愛を育むため、学校単位での博物館利用を進める。							
2 区内の小・中学校と連携・協力し、児童・生徒の地域学習・歴史学習への理解を深める取り組みを推進することで、学校の教育活動を支援する。							
【目標・成果指標】							
1 区内全小学校の社会科見学利用と、全中学校の総合学習での活用を促進する。							
2 効果的、かつ多様な体験用プログラム開発と、ハンズオン展示可能資料の充実を図り、さまざまなテーマに対応した柔軟な対応ができる体制整備を進める。							
3 「子ども用展示解説シート」や「中学生向けリーフレット」の周知を図り、小中学校社会科担当教諭へ有効活用に対する研修を実施する。							
【課題】							
1 多くの小中学校の社会科見学利用促進と、特に中学校の利用件数増加に向けた、利用促進手段の構築。							
2 各時代、テーマに合致した体験用資料の増加と整備、及び博物館の展示や資料を活用した、わかりやすく適切な講義を行える人材育成。							
3 資料を通じて生活史、体験を伝えるボランティアの導入と育成。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 80.2%(2,005人/2,500人) 前年度比: 103.4%(2,005人/1,938人)							
< 内訳・内容 >							
1 年度初めに「新宿歴史博物館活用の手引き」(2部)と子供用ハンドブック(3部)を区内の小・中学校(41校)に配布。また、各小学校が次年度予定をたてる。2月初旬にあわせ新年度に向けた博物館利用説明を実施。							
2 社会科見学・職場体験等の受入(子供用解説ハンドブックを生徒・教諭に配布) 26件 1,299人 内訳 小学校22件(児童1,200人・教諭91人) 中学校(職場体験含む)4件(生徒8人)							
3 学校授業への貸出用資料の貸出及び出張授業の対応12件 706人 内訳 小学校(児童668人・教諭38人)							
【今後の課題】							
中学校の博物館利用が少ない為、利用方法の周知、広報の工夫が必要である。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費支出	150,000			150,000	85,638	64,362	57.1%
人件費	383,000			383,000	341,001	41,999	89.0%
事業費合計(円)	533,000			533,000	426,639	106,361	80.0%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
合計(円)							

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 社会科見学の解説をする展示ガイドボランティアが定着しつつある。 2 民具利用について、何度も使用している民具の破損が目立ってきている。
---------------	---	--

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(5)		
子ども青少年体験プログラム (5)こども文化体験プログラム		開催日時	(1)7月29日(木) 12:30~、15:00~ (2)8月2日(月)・23日(月)・28日(土) (3)8月6日(金) 10:00~、13:00~				
		参加料設定	100円(保険料として新宿区が徴収)				
内容	新宿区が主催する、文化体験プログラムの企画・運営を受託。廉価に文化に触れる機会を提供し、文化プログラムの鑑賞・提供を行う。今年度は(1)パイプオルガン(2)陶芸(3)箏の3種目を実施した。						
事業区分	1主催事業	対象者	(1)小学3年生~高校生(2)5歳~中学生(3)6歳~高校生				
	3受託事業	会場	(1)新宿文化センター大ホール(2)CCAA				
関係団体	(2)CCAAアートプラザ	部屋名	(3)新宿文化センター和会議室				
		指導員・講師等	(1)文化センター専属オルガニスト早島万紀子・高橋博子(2)鈴石弘之 他(3)吉原佐知子 他				
周知	方法	備考	定員(延べ)	(1)30×2回(2)30人 (3)20人×2回 130人			
		区のみで周知・募集	応募者数	(1)64人(2)145人 (3)51人 計311人			
申込み	方法	期間	6月25日~7月13日	参加者数	(1)23人 24人(2)95人(3)17人 15人		
	はがきまたはFAX			延べ	175人		
歳出科目	会計	大科目	中科目				
	公益目的事業会計	事業費支出	4号事業費支出				
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,193,000	387,149	600,000	412,059	187,941	68.7%
(2)	人件費(円)	-	-	539,000	501,520	37,480	93.0%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,193,000	387,149	1,139,000	913,579	225,421	80.2%
(4)	事業収益(円)	0	0	0	0	0	-
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,193,000	387,194	1,139,000	913,579	225,421	80.2%
(6)	延べ参加者数	-	140	180	175	5	97.2%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	-	2,765	6,328	5,220	1,107	-
【目的】 区民の自主的な芸術活動や地域文化の活発化を図るため、区内で活動する文化芸術団体や芸術家・区内活動団体と協働し、区民が低廉で気軽に文化を体験できるプログラムを提供する。							
【目標・成果指標】 区民が気軽に参加でき、楽しみながら芸術体験できる内容を、企画・運営する。							
【課題】 1 区民が気軽に参加でき、楽しみながら芸術体験できる内容等の立案。当方で企画・立案した内容を区に打診し、承認を受けて実施。 2 区の主催事業との兼ね合いがあるので、企画段階から区との情報交換を綿密に行う。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 参加者達成率:97.2%(175人/180人) 前年度比: 125%(175人/140人) < 内訳・内容 > 1 今年度はパイプオルガン・陶芸・箏の3分野で文化体験プログラムを実施した。 (1)パイプオルガン(新宿文化センター) 7月29日(木)午前・午後各1回 参加者数 午前23人、午後24人 (2)陶芸(四谷CCAAアートプラザ) 8月2日(月)、8月23日(月)、8月28日(土) 延べ参加者数 95人 (3)箏(新宿文化センター) 8月6日(金) 午前・午後各1回 参加者数 午前17人 午後15人 2 「パイプオルガン」は演奏するだけでなく、普段は見られないパイプオルガンの内部見学が好評であった。 3 「陶芸」のプログラムは初めて行われたため、定員に対し4.7倍の応募があった。 4 「陶芸」は成形・釉薬の塗布・鑑賞の3日間にわたり開催した。 5 「箏」は3人の講師により丁寧な指導が行われ、1人ないし2人で1台の箏を使って体験し、一人3曲は演奏できるようになった。箏だけでなく尺八との合奏など鑑賞も幅広いものが提供できた。							
【今後の課題】 現行の、区が広報周知及び募集受付をし、財団は講座の運営のみを担当する形を改め、財団が広報周知、募集受付も含め一括して事業を実施できるように区との調整をすすめる。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
旅費交通費	18,000			18,000	0	18,000	0.0%
通信運搬費	8,000			8,000	0	8,000	0.0%
消耗品費	60,000			60,000	1,159	58,841	1.9%
委託費	514,000			514,000	410,900	103,100	79.9%
人件費	539,000			539,000	501,520	37,480	93.0%
事業費合計(円)	1,139,000			1,139,000	913,579	225,421	80.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
受託事業収入	1,139,000			1,139,000	1,035,900	103,100	90.9%
合計(円)	1,139,000			1,139,000	1,035,900	103,100	90.9%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
76.6%	74.0%	4.6

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 アンケートの結果、参加者の評価はおおむね高かった。 2 応募倍率が4.8倍に上る講座(陶芸)があった一方で、定員に達しなかった講座(箏)もあり、目標人数にはややとどかなかったが、昨年度の参加者数は上回った。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(6)		
子ども青少年体験プログラム (6)夏休みこども講座		開催日時	下記参照				
		参加料設定	各事業により設定				
内容	子どもたちに歴史や博物館に対する親しみを持ってもらうため、夏休み期間中を中心に児童・生徒が個人または家族で参加できる体験講座や施設見学会を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者	小中学生				
	2補助事業	会場	新宿歴史博物館ほか				
関係団体	東京都交通局木場車両検修場・荒川営業所・民音音楽博物館・駐日韓国大使館韓国文化院	部屋名					
		指導員・講師等	東京都交通局職員ほか				
周知	方法 広報誌・ホームページ チラシ	備考 区立小中学校全校生徒に配布		定員(延べ)	480人		
	方法 往復はがき・HP	期間 平成22年7月5日～各事業による		応募者数	延べ327人		
申込み			参加者数	団体 657人			
			延べ				
歳出科目	会計 公益目的会計	大科目 事業費支出		中科目 4号事業費			
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	203,000	142,410	177,000	101,100	75,900	57.1%
(2)	人件費(円)	-	71,540	566,000	528,863	37,137	93.4%
(3)	総事業費(1)+(2)	203,000	213,950	743,000	629,963	113,037	84.8%
(4)	事業収益(円)	34,000	50,800	34,000	37,200	3,200	109.4%
(5)	財源充当額(3)-(4)	169,000	163,150	709,000	592,763	116,237	83.6%
(6)	延べ参加者数	340	461	480	657	177	136.9%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	497	354	1,477	902	575	61.1%
【目的】							
1 夏休み期間、地域の児童・生徒が郷土の歴史や文化財を学ぶ楽しさを体験し、博物館に親しみをもってもらう。							
2 児童・生徒が個人または家族で参加できる体験型・見学会型の講座を開催する。							
【目標・成果指標】							
1 昔の装飾品や遊び道具等、児童・生徒等が製作する体験型講座とすることで、郷土の歴史文化に対する理解と関心を高める。							
2 普段は触れる機会の少ない館蔵資料を間近かに見て、実際に触れ質感や量感を実感する機会とする。							
【課題】							
1 博物館ボランティアが恒常的に事業運営に参加できるよう体制整備をすすめる。							
2 児童・生徒及び保護者のニーズを十分に調査・分析し、他機関と連携して新たなコンテンツを開発する。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率: 328.5% (657人/200人) 前年度比: 142.5% (657人/461人)							
< 内訳・内容 >							
1 体験型講座							
(1) 勾玉作り 新宿歴史博物館とコズミックセンターで実施。7月24日(土)・8月2日(火) 参加者は、歴博141人、コズミック174人の計315人(定員各100人)。							
(2) 四谷文化ネット 韓国文化院を訪ねて 8月4日(水)・5日(木) 応募者42人、参加者43人(定員延べ40人)							
(3) 四谷文化ネット 民音音楽博物館で音楽を体感! 8月7日(土) 応募者36人、参加者33人(定員40人)							
2 施設見学							
(1) 都電荒川線で行く荒川車両検収場見学会 8月6日(金) 応募者104人、参加者106人(定員延べ80人)							
(2) 大江戸線木場車両検収場見学会 7月29日(木)・8月18日(水)・20日(金) 応募者145人、参加者160人(定員延べ120人)							
【今後の課題】							
1 どの講座も満足度が高かった。今後もこのグレードを継続するとともに、参加者のニーズもさらに検証し新たなプログラムの企画立案に努める。							
2 博物館ボランティアの企画からの参画をさらに推進する。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
消耗品費	109,000			109,000	65,692	43,308	60.3%
使用料及び賃借料	32,000			32,000	27,640	4,360	86.4%
保険料	0		9,000	9,000	7,768	1,232	86.3%
諸謝金	36,000		9,000	27,000	0	27,000	0.0%
人件費	566,000			566,000	528,863	37,137	93.4%
事業費合計(円)	743,000		0	743,000	629,963	113,037	84.8%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
	34,000			34,000	37,200	3,200	109.4%
合計(円)	34,000			34,000	37,200	3,200	109.4%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
136.9%	62.6%	4.8

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	4	1 1講座を除き、全て定員を超える応募者、参加者があった。 2 どの講座もアンケートによる満足度が4.8以上と好評であった。 3 講座参加のきっかけは、財団広報誌の他、チラシという意見も多かったため、今後も夏休み前のチラシによる周知活動を充実させる。
---------------	---	---

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-3-(7)		
子ども青少年体験プログラム (7)中学生・高校生体験事業		開催日時	(1)7/26~8/24 (2)8/2(月)・3(火)・6(金)各19時~20時30分 (3) 7/24(土) 8/4(水)各10時~12時				
		参加料設定	(1)無料 (2)600円 (3)各200円				
内容	1 ボランティア活動や社会奉仕活動を通して、地域活動への関心を促すとともに他者との関わりの中で社会性を育む。2 青少年の多様なニーズに対応したプログラムの提供と、他者とのかかわりの中で、リーダー育成、社会性を育む。3 子どもたちに歴史や博物館に対する親しみを持ってもらうため、夏休み期間中を中心に児童・生徒が個人または、家族で参加できる体験講座や施設見学を開催する。						
事業区分	1 主催事業	対象者	中学生・高校生				
	2 補助事業	会場	(1)教育センター・放課後子どもひろば(2)コスミックセンター(3)新宿歴史博物館				
関係団体		部屋名	(1)8階大研修室・放課後子どもひろば(11校)(2)多目的広場・多目的室(3)2階講堂				
		指導員・講師等	(1)和田美知男・滑川邦夫(2)セルツァー正美(3)河合 敦 蒲生真紗雄				
周知	方法	備考			定員(延べ)	(1)定員なし(2)各回15人×3回延べ45人(3)各回60×2回延べ120人	
	(1)(2)(3)広報紙(Oh!レガス)7月5日号	(1)(2)(3)チラシ				応募者数	(1)39人(2)15人(3) 53人 26人
	(1)(2)(3)ホームページ				参加者数		(1)89人(2)32人(3) 47人 26人
申込み	方法	期間				延べ	194人
	(1)(2)(3)往復はがき	(1)7月5日~8月4日(2)7月5日~26日(3) 7月5~16日 7月5日~27日					
	(1)(2)(3)HP・Eメール						
	(1)(2)FAX						
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	143,000	56,240	142,000	72,320	69,680	50.9%
(2)	人件費(円)	-	-	758,000	699,363	58,637	92.3%
(3)	総事業費(1)+(2)	143,000	56,240	900,000	771,683	128,317	85.7%
(4)	事業収益(円)	28,000	12,800	42,000	21,200	20,800	50.5%
(5)	財源充当額(3)-(4)	115,000	43,440	858,000	750,483	107,517	87.5%
(6)	延べ参加者数	160	64	210	194	16	92.4%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	719	679	4,086	3,868	217	94.7%
[目的] ボランティア活動や社会奉仕活動、自然体験活動、その他体験プログラムを通して青少年の健全育成を図る。							
[目標・成果指標] 青少年の健全育成事業を推進していくため、平成22年度から、ボランティア活動のほか、社会奉仕活動、職業体験プログラム等を実施。併せて、平成23年度からジュニアリーダー育成事業を実施すべく、関係団体との調整、参加者の中から核となる人物を抽出する。							
[課題] 1 青少年の多様なニーズに対応したプログラムの提供と協力団体の確保。 2 体験や実践プログラムの実施に向けた各協力団体との調整と複数年開催の検討。 3 中学生・高校生スタッフの企画段階からの参画に向けた条件整備と調整。 4 ジュニアリーダー育成事業実施に向けた関係団体との調整と条件整備。							
[今年度の結果] < 成果指標に対する実績 > 達成率:92.4%(194/ 210) 前年度比:303.1%(194/64) < 内訳・内容 > 1 「放課後子どもひろば」でのボランティア活動体験 参加者延べ89名 7月23日(金)・8月5日(木)事前説明会 ガイダンス後、希望する各子どもひろばにてボランティア活動を実施。 2 ヒップホップダンスを通して他の仲間と意見交換する場やコミュニケーション能力や自発的な行動を育む 1日目:基礎 2日目:応用 3日目:グループ創作 参加者延べ32名 3 博物館に来館する機会が少ない中学・高校生が博物館に親しみ、利用者となるきっかけとなるような、中高生の興味を喚起する内容とすることを重視。 第1回「世界一受けたい歴史の講座」7月24日(土) 講師:河合 敦(歴史研究家) 参加者47人、満足度評価4.8 第2回「坂本龍馬の生きた幕末」8月4日(水) 講師:蒲生真紗雄(都立国際高校教諭) 参加者26人、満足度評価3.9							
[今後の課題] 1 統一的にボランティア活動を行ってもらえるような工夫。 2 受講期間の延長、成果の発表の場の提供等、魅力ある体験事業の開発。 3 知名度の高い講師による連続講座による集客増、広報の強化・工夫。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
通信運搬支出	4,000			4,000	320	3,680	8.0%
消耗品支出	50,000			50,000	0	50,000	0.0%
諸謝金支出	88,000			88,000	72,000	16,000	81.8%
人件費	758,000			758,000	699,363	58,637	92.3%
事業費合計(円)	900,000			900,000	771,683	128,317	85.7%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
参加料収入	42,000			42,000	21,200	20,800	50.5%
合計(円)	42,000			42,000	21,200	20,800	50.5%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
92.4%	87.0%	4.1

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	(1)ボランティア体験については、参加者・受入側の責任者双方より、充実した時間であったとの回答を得られた。 (2)アンケートを実施したヒップホップダンス及び歴史講座は、満足度は高評価であった。 (3)歴史講座については、アンケート結果によると、参加者の44%が初めて博物館に来館しており、本企画が中高生が博物館に親しむきっかけ作りの一助となったことが窺える。 (4)全体としては昨年度に比べ、延べ参加者数は大きく伸びたものの、講座形式のものは募集定員を下回る結果となった。
---------------	---	---

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-4		
子ども・青少年音楽フェスティバル		開催日時					
		参加料設定	無料				
内容	子ども・青少年の日頃の音楽活動の奨励と成果発表の場として、青少年の吹奏楽ステージ「青少年プラスフェスティバル」と、子どもを対象でジャンルを問わない音楽ステージ「子どもの音楽会」を開催する。						
事業区分	1主催事業	対象者					
	2補助事業	会場	新宿文化センター				
関係団体		部屋名	大ホール				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考			定員(延べ)	人	
	財団広報紙 チラシ					団体	
申込み	方法	期間			応募者数	1051人	
	郵送					26団体	
	FAX				参加者数	1012人	
					延べ	25団体	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	1,898,000	424,605	2,471,000	1,513,537	957,463	61.3%
(2)	人件費(円)	0		2,076,000	1,822,924	253,076	87.8%
(3)	総事業費(1)+(2)	1,898,000	424,605	4,547,000	3,336,461	1,210,539	73.4%
(4)	事業収益(円)	0	0	50,000	40,000	10,000	80.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	1,898,000	424,605	4,497,000	3,296,461	1,200,539	73.3%
(6)	延べ参加者数		2,643	2,650	2,456	194	92.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)		161	1,697	1,342	355	79.1%
【目的】							
区内の子ども・青少年を対象に音楽文化の振興を図るとともに、活動成果の発表の場を提供することにより参加者・団体同士の交流を図る。また、区民が広く成果を鑑賞することで子どもや青少年の音楽活動に接する機会を提供する。							
【目標・成果指標】							
1 音楽活動をしている子ども・青少年にとって、成果発表の目標となるようなステージづくりを目指す。他団体の優れたパフォーマンスに接する機会を通して、参加者の音楽活動を奨励する。より多くの来場者に活動成果を披露することで、新宿の音楽文化の振興につなげる。							
2 出演団体増によりステージの魅力を高める。22年度はプラスフェスティバルで参加1団体増と来場者30名増、子どもの音楽会で参加1団体増を数値目標とする。							
【課題】							
1 出演団体及び来場者増加のための工夫。より多くの団体が参加できる実施時期や形態を検討する必要がある。							
2 企画・運営における参加団体等の協力体制の確立。							
【今年度の結果】							
< 成果指標に対する実績 > 達成率:92.7%(2,456人/2,650人) 前年度比:92.9%(2,456人/2,643人)							
< 内訳・内容 >							
1 青少年プラスフェスティバルは、出演者10団体407名、観覧者533名であった。出演10団体のうち2団体は招待団体。友好都市長野県伊那市より春富中学校。全国大会常連校の都立片倉高校。							
2 子どもの音楽会は、区内小中学校・児童館・前年度参加団体への参加案内送付、広報紙での周知によって参加者・来場者合わせて1516名(出演者15団体605名 観覧者911名)となった。また、新規団体として初めて中学校(新宿中学校合唱部)の参加を得た。							
【今後の課題】							
1 観覧者の増員のため、周知に力を入れ、さらに演奏会の質の向上を目指す。							
2 参加団体が自ら関わることができる運営方法を検討する。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議支出	123,000			123,000	0	123,000	0.0%
旅費交通支出	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
通信運搬支出	30,000			30,000	735	29,265	2.5%
消耗品支出	256,000			256,000	175,723	80,277	68.6%
修繕費支出	25,000			25,000	0	25,000	0.0%
印刷製本支出	389,000			389,000	265,629	123,371	68.3%
諸謝金支出	185,000			185,000	180,000	5,000	97.3%
委託支出	1,453,000			1,453,000	891,450	561,550	61.4%
人件費	2,076,000			2,076,000	1,822,924	253,076	87.8%
事業費合計(円)	4,547,000			4,547,000	3,336,461	1,210,539	73.4%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
広告料収入	50,000			50,000	40,000	10,000	80.0%
合計(円)	50,000			50,000	40,000	10,000	80.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	1 新宿文化センターの大ホールで行うことで、各団体が日頃の練習の成果を発表する目標の場となっている。 2 成果発表の場という性質上、関係者や家族が主な観覧者であるため、一般の観覧者を呼び込む工夫をしていく必要がある。
---------------	---	---

[平成22年度]

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-4-(1)		
子ども青少年音楽フェスティバル (1) 青少年ブラスフェスティバル		開催日時	10月9日(土)				
		参加料設定	なし				
内容	区内で活動する青少年(学校・地域団体)による吹奏楽のステージ。今日最も広い世代に親しまれている吹奏楽をモチーフにして、若い世代の文化の担い手たちが日ごろの練習の成果を競い、所属や年齢を超えて交流を図る機会とする。						
事業区分	1 主催事業	対象者	学校・地域団体				
	2 補助事業	会場	新宿文化センター				
関係団体		部屋名	大ホール				
		指導員・講師等	講評者: 塚田 誠・浅利 真				
周知	方法	備考			定員(延べ)	なし	
	財団広報 9月5日号	チラシ				応募者数	407人 10団体
申込み	ホームページ				参加者数	407人 10団体	
	方法 その他	なし			延べ	観客含め940人	
歳出科目	会計	大科目			中科目		
	公益目的事業会計	事業費支出			4号事業費支出		
単位費用		前年度決算値		今年度決算値			
項目		予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(1)	事業費(円)	2,690,000	1,657,999	1,588,000	897,475	690,525	56.5%
(2)	人件費(円)	-	-	491,000	457,190	33,810	93.1%
(3)	総事業費(1)+(2)	2,690,000	1,657,999	2,079,000	1,354,665	724,335	65.2%
(4)	事業収益(円)	50,000	31,500	50,000	40,000	10,000	80.0%
(5)	財源充当額(3)-(4)	2,640,000	1,626,499	2,029,000	1,314,665	714,335	64.8%
(6)	延べ参加者数	1,200	1,131	1,150	940	210	81.7%
(7)	単位費用(円)(5)/(6)	2,200	1,438	1,764	1,399	366	79.3%
【目的】 広く親しまれている文化活動の一つである吹奏楽を通し、これからの地域文化活動の担い手である若い世代の愛好家たちに、練習の成果を競い交流を図る場を提供し、今後の活動を奨励する機会とする。							
【目標・成果指標】 1 他校などの演奏を聴く経験を通して触発を受けられる機会であるため、年齢や所属を超えた団体が参画できるよう、事前の情報提供を図る。 2 出演団体の増加によりステージの魅力を高める。22年度は出演1団体増と来場者1,150名を成果指標として設定し、その達成を目指す。							
【課題】 1 事業の趣旨に基づき、特に小・中学生、高校の団体に参加を望みたいところであるが、担当する顧問によって活動状況が左右されるため、事項委員会の構成、役割分担にあたっては地域団体への負担にかたよりが生じる。 2 出演団体数及び入場者をもっと増やす必要がある。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 81.7%(940人/1,150人) 前年度比: 83.1%(940人/1,131人) < 内訳・内容 > 1 940名 内訳: 出演者407名 観覧者: 533名 2 出演10団体のうち2団体は招待団体。友好都市長野県伊那市より春富中学校。全国大会常連校の都立片倉高校。 3 休憩後に文化センターにあるパイプオルガンの演奏をおこなった。 4 当日、大雨の影響で、観客が前年度を下回った。 5 講評者による各団体の評価をおこない、今後の練習への意欲向上につなげた。							
【今後の課題】 1 参加団体を増やし、より大々的なフェスティバルにしていく工夫が必要である。 2 観覧者を増やすため、周知に力を入れ、また、演奏会の質の向上に取り組んでいく。 3 団体への連絡を密に行い、スムーズに運営できるようにしていく。							

支出・収益内訳

支出

支出科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	執行率
会議支出	123,000			123,000	0	123,000	0.0%
旅費交通支出	10,000			10,000	0	10,000	0.0%
通信運搬支出	30,000			30,000	735	29,265	2.5%
消耗品支出	154,000			154,000	92,200	61,800	59.9%
印刷製本支出	294,000			294,000	171,990	122,010	58.5%
諸謝金支出	185,000			185,000	180,000	5,000	97.3%
委託支出	792,000			792,000	452,550	339,450	57.1%
人件費	491,000			491,000	457,190	33,810	93.1%
事業費合計(円)	2,079,000			2,079,000	1,354,665	724,335	65.2%

収益

収益科目	当初予算額	補正予算額	予算流用額	予算額合計	決算額	差異	収益率
広告料収入	50,000			50,000	40,000	10,000	80.0%
合計(円)	50,000			50,000	40,000	10,000	80.0%

事業総合評価

参加率	回収率	アンケート
-	-	-

アンケート評価基準

回答パターン	ポイント
満足	5
ほぼ満足	4
普通(どちらともいえない)	3
やや不満	2
不満	1
分からない	集計対象外

総合評価 (5段階)	3	(1)招待団体に全国大会常連校を招いたため、出演者が真剣に演奏に聴き入っていた。会場を巻き込むのが上手で、会場が一つになって盛り上がり終演することができた。 (2)成果発表の場という性質が強いため、観覧者のほとんどが関係者や家族である。より多くの一般観覧者を呼び込む必要がある。 (3)新宿文化センターの大ホールでおこなうことで、演奏会としての質を上げ、演奏者も達成感を得ることができた。
---------------	---	--

【平成22年度】

事業実績報告書

事業名		定款	第4号	事業番号	4-4-(2)		
子ども・青少年音楽フェスティバル (2) 子どもの音楽会		開催日時	12月5日				
		参加料設定	無料				
内容	日頃の音楽活動の奨励と成果発表の場として、子どもが対象でジャンルを問わない幅広いジャンルの音楽ステージ「子どもの音楽会」を開催する。						
事業区分	1 主催事業	対象者	区立小・中学校 区内青少年団体 区立児童館				
	2 補助事業	会場	新宿文化センター				
関係団体		部屋名	大ホール				
		指導員・講師等					
周知	方法	備考		定員(延べ)	人		
	財団広報紙	7月20日号			20団体		
申込み	方法	期間		応募者数	644人		
	郵送	7月20日～8月30日		参加者数	16団体		
歳出科目	FAX			延べ	605人		
					15団体		
単位費用	会計	大科目		中科目			
	公益目的事業会計	事業費支出		4号事業費支出			
項目		前年度決算値		今年度決算値			
(1)	事業費(円)	予算額	決算額	予算額	決算額	差異	予算比
(2)	人件費(円)						
(3)	総事業費(1)+(2)						
(4)	事業収益(円)						
(5)	財源充当額(3)-(4)						
(6)	延べ参加者数						
(7)	単位費用(円)(5)/(6)						
【目的】 区内の子ども・青少年を対象に音楽・音楽文化の振興を図るとともに、日ごろの活動成果発表の機会を提供することで、参加者・団体同士の交流を図る。また、区民が広くその成果を鑑賞することで子ども・青少年の音楽活動に触れる機会を提供する。							
【目標・成果指標】 1 音楽活動をしている子どもが、成果発表の場となるステージを目標とするとともに、他団体の優れたパフォーマンスに触れることによって今後の音楽活動の励みとする。またより多くの来場者に活動の成果を披露することで、新宿の音楽文化の振興につなげる。 2 出演団体の増加によりステージの魅力を高める。 3 22年度は子どもの音楽会で参加1団体増を数値目標とする。							
【課題】 1 出演団体及び来場者増加のための工夫。より多くの団体が参加できる実施時期や形態を検討する必要がある。 2 企画・運営における参加団体等の協力体制の確立。							
【今年度の結果】 < 成果指標に対する実績 > 達成率: 101% (1,516人/1,500人) 前年度比: 100% (1,516人/1,512人) < 内訳・内容 > 1 区内小中学校・児童館・前年度参加団体への参加案内送付、広報紙での周知によって参加者・来場者合わせて1516名(出演者605名 観覧者911名)となった。 2 新規団体として初めて中学校(新宿中学校合唱部)の参加を得た。15団体 605名の参加。 3 申し込み団体に対し、準備スケジュール・提出書類を一括で送付したことによって、準備を円滑に進めることができた。 4 団体ごとに協力者を募り、舞台転換を行った。 5 平成23年度の開催について出演団体にアンケートを行い、より多くの団体が参加できる実施時期を調査した。							
【今後の課題】 1 各団体ごとの舞台転換をスムーズに行うための方法を検討する。 2 観覧者の増員のため、周知に力を入れ、さらに演奏会の質の向上を目指す。 3 参加団体が自ら関わることでできる運営方法を検討する。 4 参加する子どもたちが生涯にわたって音楽活動に携わるきっかけとして、青少年プラスフェスティバルの参加団体や新宿吹奏楽団等による演奏の時間を設け、音楽に対する関心を喚起する。							

